

# 第26回 こどもまちづくりコンクール 作品募集

高山のまちについておもっていることはありませんか？ それを作品にしてみませんか？ みなさんの『夢』や『ねがひ』をおしえてください。

## スタート

まちをたんけんしてみよう。

歩いて、見てあそんでしらべてみよう。

👁️👁️ なんてすてきな けしき♪

この場所は好きだから なくさないで、こわさないで！ 🙅🙅

まちのタカラモノ み~つけた！ 🎉🎉

こんな道路や公園があったらいいな 🎉🎉

🎉🎉 未来のまちはこんなふう…

ここは こんなふうにかわったらいいな 🎉🎉

まちにはどんな歴史があるの？ 🎉🎉

好きな方法で自由な大きさ(壁に貼るものができるだけB紙2枚までにしてください。)で作品にして発表してみてね。  
模型等は接着をしっかりとね。

感じたこと  
考えたこと  
しらべたことを  
みんなにおしえてあげよう！

アイデアいっぱいの作品をまってるよ！

## 完成

対象：高山市内の小・中学生（個人、またはグループ）  
応募方法：夏休み終了後、うらの作品票を作品につけて、学校に提出してください。  
展示日時：9月15日（金） 午後1時～午後7時  
9月16日（土） 午前9時～午後7時  
9月17日（日） 午前9時～午後4時  
場所：高山市民文化会館 3階  
表彰：優秀な作品には大賞、優秀賞、特別賞などを用意しています。  
出品者全員に参加賞。表彰式は9月16日（土）午前9時～文化会館にて（※上位の作品は、移動展の為にしばらくのあいだ実行委員会にてお預かりさせていただきます。）  
問合せ先：高山市都市政策部都市計画課内  
こどもまちづくりコンクール実行委員会事務局  
（担当：谷） 電話：57-7444（直通）



## =こどもまちづくり作品 といかかりまでのヒント=

得意なことはなあに？  
好きなものはなあに？  
近所や町の中で気になっていることはある？  
ひとりでする？ だれかといっしょにする？  
なにで調べればいいのか？  
図書館や資料館へ行ってみる？  
いろいろな人の話を聞いて、歩いてみるのもいいかもね。

令和3年度のまちづくり大賞のタイトルは「五感で楽しむぼくの町」、まちづくり準大賞2作品のタイトルは「安心してらせる町へ」、「私の好きな上宝町」でした。（令和4年度入賞のタイトルはうら面にあります）  
また、今までの応募作品のタイトルをならべてみました。

- ぼくのすきなせんとう
- こんな公園があったらいいなあ
- ずっとのこしたい たからもの
- たかやままつりのだいけんきゅう
- ぼくの町クリーンチャレンジ
- 昔ながらの商店街
- 下切町谷調べ・屋号調べ
- 「莊川焼」で町おこし

……など楽しいタイトルがいろいろありました。

やりたいことが決まったら計画を立てて、作品づくりに挑戦してみよう！

まちづくり大賞にはトロフィー（中央）、まちづくり準大賞には楯（左右）が贈られます。  
まちづくり大賞は誰の手に？  
みんなの作品を待ってます！



応募用紙はうら面です



# こどもまちづくりコンクール作品票

受付番号

作品のタイトル

作品のタイトル

名前（グループならメンバー全員の名前） ※ふりがなも書いてください。

名前（グループならメンバー全員の名前） ※ふりがなも書いてください。

学校と学年

学校 年生

感想（作ったきっかけ、作品の見てほしいところ、苦労したことなど）

感想（作ったきっかけ、作品の見てほしいところ、苦労したことなど）

# 令和4年度の入賞作品より

## ▶ まちづくり大賞

### 『ぼくの町の秋葉様ガチャ HAPPY 計画』

高山の町に67ヶ所の秋葉様があります。町の中に点々とある秋葉様を全部まわってみました。秋葉様をめぐれば、町の中の色々な場所へ行ってもらえるのではないかと思います。そこで秋葉様めぐりをしたくなる仕掛けを考えました。それは「秋葉様ガチャ」です。中から出てくるのは高山祭の行列マスコットです。たくさん集めたいような仕掛け、環境へのやさしさも大切にしました。ぼくが考えた「飛騨高山秋葉様めぐり おまつり行列マスコット」のガチャマシン・紙製カプセル、木製マスコット、パンフレット・67種類のマスコット図案を実際に作ってみました。みんながハッピーになって、観光の町高山市が持続可能な町になる提案です。



## ▶ まちづくり準大賞

### 『おくひだ自然エネルギーマップ』

家の近くに大きなやぐらがたって、何ができるんだろうときょうみをもった。お父さんに聞くと、ぼくがすんでいる地いきに何かしよもあることが分かった。どんなところがあるのか一つ一つ見て回るのは大変だったけど、色んなたてもものを見ることができた。電気は色々な方法で作られていることが分かった。



### 『夏休みに行ってきたよ！みんなでホテルランランランチ♪』

（やろうと思ったきっかけ）  
いつもはハードルが高く、勇気が無くてなかなか出来ない外食、今年の夏は自由研究の題材として取り組んで夏休みの思い出を作りたいと思いました。  
（見てほしい所、苦労した所）  
私たちは障がいがありうまく飲み込めなかったり、噛めなかったりして普通の食事をする事が難しいです。なので食事をする時は、いつも食べ物の形態をかえる2次調理（きざむ、ペーストにする）が必要です。また胃ろうのお友達、大声を出してしまう、じっとしてられないお友達もいます。それをホテルの人にランチの予約をする時、伝えるのに苦労しました。でも、どのホテルも私たちの思いを聞こうとして下さり楽しくランチが出来た所を見て欲しいです。  
食後ホテル館内を調査した所、市役所で調査した所も見たいです。この研究で私たちの事を伝える事ができ、どんな方でも利用できる場がたくさんあるまちになっていったらいいな～と思います。



★そのほかの入賞作品も、高山市のホームページで見ることができます。  
高山市行政情報ホームページ(<http://www.city.takayama.lg.jp/index.html>)  
にアクセス。行政情報トップページの「新着情報(令和5年6月28日更新)」  
高山市こどもまちづくりコンクール を確認してね！